

第 107 回 発電用設備規格委員会 議事録

1. 日 時 : 2023 年 9 月 20 日 (水) 10:00~17:20
2. 場 所 : Web 開催
3. 出席者 : 委員 26 名、敬称略

【委 員】

笠原委員長(東大)、高橋副委員長(理科大)、伊阪幹事(関西電力)、鈴木(中部電力)、波木井(東電)、木村(NIMS)、堂崎(東北大)、町田、(TEPSYS)、浅山(JAEA)、大谷(MFBR)、平野(日立GE)、渋鋤(IHI)、楠(日本原電)、爾見(発電技検)、中村協正(川崎重工)、川畑(東大)、三浦(電中研)、朝田(三菱重工)、山口(HSB ジャパン)、室伏(東芝 ESS)、高柳(電機協会)、増川(火原協)、藤田正昭(マックスコーポレーション)、火専長)、松永(東芝 ESS、原専長)、西井(電源開発、材専長)、橋爪(東北大、核専長、午前中)

【委員代理】

戸張(QST) : 午後より橋爪委員(東北大、核専長) 代理

【欠 席】

小山(日本製鋼所 M&E)

【アドバイザー】

なし

【常時参加者】

なし

【オブザーバ】

佐々木(原子力規制庁)、森井(関電)、北浦(関電)、中村いずみ(東京都市大)、藤田善宏(東芝 ESS)、野村(CS エンジニアリング)、高屋(JAEA)、白井(電中研)、清水(日立GE)、岡島(JAEA)、北条(三菱重工)

【事務局】

松岡、中村泰造、渡邊

4. 配布資料

- 107-0 : 第 106 回 発電用設備規格委員会議事次第案
- 107-1 : 第 105 回 発電用設備規格委員会議事録案
- 107-2 : 発電用設備規格委員会名簿案
- 107-3-1 : 委員の委嘱期間終了月の統一の原子力専門委員会大での運用提案
- 107-3-2 : 規格委員会次期委員長選任手続き(案)
- 107-3-3 : 2022 年度活動実績報告書案 PPT 版
- 107-4 : 第 96 回規格委幹事会議事録案
- 107-5 : 投票結果
- 107-6 : 質問受付・回答状況
- 107-7 : 火力専門委員会報告
- 107-8 : 原子力専門委員会報告
- 107-9 : 材料専門委員会報告
- 107-10 : 核融合専門委員会報告
- 107-11-1 : 第 72 回原子力関連学協会規格類協議会議事メモ
- 107-11-2-1 : 72-3-2-1-2_2022 年度学協会ピアレビュー概要報告書
- 107-11-3_115-6-7_85-2-4_72-2-2-1-1-JSME 主要 3 規格の技術評価対応状況_202308_R0
- 107-11-4 : 5th ISPMNA Flyer106-11-4-2-1 : ASME SSDC Roadmap_Rev E
- 107-11-5-1_ASME Code Week (2023 年 8 月) 概要報告_20230831
- 107-11-5-2_230627 WGIAGE Joint Meeting & Aging Management Workshop 報告_JointWG 削除

[ここに入力]

(107-12：欠番)

- 107-13-0：#107 規格委_設計・建設分科会 審議案件
- 107-13-1-0：DC22-22 解説での式の誤記 修正提案_規委書面投票結果_230920 規委
- 107-13-1-1：規委_改2_DC22-22 解説での式の誤記_修正提案_R6_規委意見対応+誤記修正価
- 107-13-2-0：2024Ed_改定提案その1 _230920 規委
- 107-13-2-1：_DC21-19_JIS 長手溶接鋼管の許容引張応力 R1_230920 規委
- 107-13-2-2：2024 Ed (その1)改定提案_原専書面投票対応_R1_230920 規委
- 106-14-2：溶接規格 2020 年版 正誤表 承認済みの修正 メール審議経過報告
- 107-13-3-1：DC22-29_溶接規格 2024(その1) 影響評価 R1_230920 規委
- 107-13-3-2：DC23-27 溶接規格 2024(その3) 影響評価 R0a_230920 規委
- 107-14-0：規格委員会_溶接分科会審議案件
- 107-14-1：溶接部の吸収エネルギー規定材料の追加改定_規格委員会書面投票結果報告
- 107-14-2：溶接規格 2020 年版正誤表承認済みの修正_規格委員会書面投票結果報告
- 107-14-3：「超音波探傷試験」への対比試験片の追加_規格委員会書面投票結果報告
- 107-14-4：「溶接後熱処理における溶接部の厚さ及び母材の厚さ(例)」への事例追加_規格委員会書面投票
- 107-14-5：引用規格の略称表記の統一_規格委員会書面投票
- 107-15-0：資料リスト
- 107-15-1：評価章の正誤表(添付 EJC-B-4-5 他)
- 107-15-2：評価章の正誤表(添付 EJC-B-4-5)
- 107-15-3：事例規格 管台丸み部応力拡大係数算出式
- 107-16-1：材料規格に対する正誤表の発行提案(23NM-010)
- 107-16-2：ASME 相当材の Su 値見直し_再提案(21NM-012)
- 107-17：高温規格分科会審議案件リスト
- 107-17-1：公衆審査版からの軽微な修正 規格委員会メール審議 No. 79 意見対応
- 107-17-2：(ETD22-009)規格委員会書面投票 No. 602 意見回答 R2
- 107-17-3-01：(ETD23-004) 設計・建設規格第Ⅱ編 2024 年版準用規格年版の更新提案(その1)
- 107-17-3-02：(ETD23-004) 添付_設計 2022 根拠(その1)
- 107-17-3-03：(ETD23-004) 添付_設計 2022 根拠(その2)
- 107-17-3-04：(ETD23-004) 添付_設計 2022 根拠(その3)
- 107-17-3-05：(ETD23-004) 添付_設計 2022 根拠(その4)
- 107-17-3-06：(ETD23-004) 添付_材料 2022 根拠(その1)
- 107-17-3-07：(ETD23-004) 添付_材料 2022 根拠(その2)
- 107-18-1：貯蔵分科会審議案件
- 107-18-2：金属キャスク構造規格事例規格集の発行提案 来歴表
- 107-18-3：事例規格集の書式来歴
- 107-18-4：規格委員会書面投票 No. 610 投票結果
- 107-18-5：規格委員会書面投票 No. 610 意見対応
- 107-18-6：公衆審査計画 r2
- (107-19：欠番)
- 107-20：2023_0920 規格委資料 耐震タスク 事例規格 NC-CC-008 正誤表対応について
- 107-21-1：環境疲労評価手法 審議経緯と今後の進め方
- 107-21-2-1：環境疲労評価手法 2022 英訳版_発行前チェックに基づく修正提案_r1
- 107-21-2-2：公衆審査版からの追加修正リスト(お知らせ案)_環境疲労評価手法 2022 年版_r1
- 107-21-2-3-1：環境疲労評価手法(2022 年版) 英文版_和英比較_原専 LB コメント反映_221215 R4
- 107-21-2-3-2：英訳版_修正箇所新旧比較表 R4
- 107-21-2-3-3：環境疲労評価手法 2022_発行原稿チェック結果 修正提案
- 107-21-2-4_環境疲労評価手法 2022 英訳版_発行前チェックに基づく修正報告

[ここに入力]

(107-22：欠番)

(107-23：欠番)

107-24-1-1：公衆審査ご意見への回答（目標信頼性ガイドライン）

107-24-1-2：公衆審査_ご意見者 1_回答案_20230829

107-24-1-4：公衆審査_ご意見者 3_回答案_20230828

107-24-2-1：公衆審査用原稿からの修正（目標信頼性ガイドライン）

107-24-2-3：ガイドライン修正案_公衆審査及び表記チェック_230831

107-27-1：「発電用設備規格関連の材料事象解説」改定提案

投票対象_発電用設備規格「発電用設備規格関連の材料事象に関する解説」改定案

参考資料 1-2_原子力専門委員会投票結果とその対応

参考資料 1-3_火力専門委員会投票結果とその対応

参考資料 1-4_材料専門委員会再投票結果とその対応

参考資料 2_各委員会投票結果反映版（新旧比較）

5. 議事内容

(1) 開 会

出席者を点呼し、定足数（委員総数の 2/3 以上）を満足することを確認した。

(1-1) 議事次第 確認

(1-2) 前回議事録の確認【資料 107-1】

事務局より、事前配布版からの追加事項等が説明された。挙手による採決の結果、議事録として承認された。

(2) 委員人事

(2-1) 専門委員会 役員人事

材料専門委員会及び核融合専門委員会の委員長選任投票結果が事務局より報告され、挙手による採決により承認された。なお、結果として両専門委員会とも委員長の交代はなく、引き続き規格委員会の委員を継続する。内容は以下のとおり。

➤ 材料専門委員会 次期委員長選任

西井委員長（電源開発）が委員総数 20 名の過半数である 14 票を獲得し、次期委員長に選任された。

現在の任期終了時点から 2 年間（2025/3 まで）継続して委員長の任に当たる。

➤ 材料専門委員会 次期委員長選任

橋爪委員長（東北大学）が委員総数 12 名の過半数である 9 票を獲得し、次期委員長に選任された。

現在の任期終了時点から 2 年間（2024/12 まで）継続して委員長の任に当たる。

(2-2) 規格委員会委員人事【107-2】

規格委員会及び各専門委員会の委員人事案件について報告・審議が行われ、全会一致で承認された。内容は以下のとおり。なお、規格委員会の人事については、次回理事会の承認を以て確定される。

➤ 規格委委員会

[再任] 伊阪幹事（関電）、堂崎委員（**東北大**）、三浦委員（電中研 A）

[退任] —

[新任] —

➤ 火力専門委員会

[再任] 藤田委員長（マックスコーポレーション）、三好副委員長（川崎重工）、飯田幹事（JERA）、佐藤委員（発電技検）

[新任] 羽原委員（関電）

[退任] 山本委員、鈴木委員

➤ 原子力専門委員会

[再任] 今井委員（東電）、小林委員（EPRI International）

[ここに入力]

〔新任〕 柳沢委員（日本製鋼所）

〔退任〕 小枝委員（日本製鋼所）

➤ 材料専門委員会

〔再任〕 西井委員長（電源開発）、岡田（日鉄テクノロジー）、稲垣委員（東芝 ESS）、

〔新任〕 三木委員（日本製鋼 M&E）

〔退任〕 高澤委員（日本製鋼 M&E）

➤ 核融合専門委員会

〔再任〕 橋爪委員長（東北大）、中平委員長（QST）、稲垣委員（東芝 ESS）、山田委員（金属技研）

〔新任〕 －

〔退任〕 －

(3) 優先的に審議すべき事案またはトピックス

(3-1) 委員再任時期の統一に関する審議【資料 107-3-1】

（説明者：原子力専門委員会 松永委員長、高屋幹事）

原子力専門委員会での委員再任時期の統一について、試行で明らかになった主要課題に対応した正式運用の提案が説明された。原子力専門委員会傘下の分科会及び作業会について提案に従い運用することが第 115 回原子力専門委員会にて承認済みである。今回、原子力専門委員会委員についても同提案に基づき再任手続きを行うことが審議され、承認された。規格委員会及び他専門委員会でも適宜、適用を検討することとなった。なお、火力専門委員会では、再任手続きに現状大きな作業負担はないことから、現在の運用を継続予定との説明があった。

(3-2) 規格委員会次期委員長選任手続きの審議：【資料 107-3-2】（説明者：事務局）

規格委員会笠原委員長の任期が 2024/1 末までとなったことを受け、事務局より次期委員長選任投票の実施スケジュール案が説明され、全会一致で承認された。概要は以下のとおりである。

- ・規格委員会運営規約第 5 条 1 (1) に従い、郵送による無記名投票にて実施する。
- ・メールによる候補者の推薦受付：9/24 より 1 週間
- ・投票受付：10/10～10/24
- ・開票：10/25
- ・過半数に達する候補者がいない場合は、規約に従い上位 2 名による決選投票を実施

(3-3) 2022 年度活動成果報告書案に関する審議：【資料 107-3-3】

（説明者：楠委員）

楠委員より 2022 年度活動報告書案について説明が行われた。内容は以下のとおり。

- パワーポイント版を対象に内容が説明された。原子力専門委員会で準備中の規格改定骨子を追加すれば内容は固まる。
- 10 月第 2 週までレビューを委員各位からの受けつけ、仕上げる。
- 電気工業会への報告会の日程調整は事務局が行う。昨年の実績は 11 月後半であり、今年度も同程度の時期を想定している。

(4) 発電用設備規格に関する審議

(4-1) 発電用火力設備規格に関する審議：審議なし【資料 107-12 欠番】

(4-2) 発電用原子力設備規格に関する審議

原子力専門委員会松永委員長から概要を説明後、各分科会代表から個別に議案の説明及び審議が行われた。各規格の審議結果は以下のとおり。

(4-2-1) 発電用原子力設備規格 設計・建設規格＜第 I 編 軽水炉規格＞：【資料 107-13】

（説明者：設計・建設分科会 朝田主査）

審議内容は以下のとおり。

[ここに入力]

- 正誤表修正の審議：DC22-22「「解説 PVE3293」の式の誤記に関する正誤表」の修正提案に関し、規格委メール審議No. 85 が可決したこと及び意見対応に伴う編集上の修正について説明され、全会一致で承認された。（資料：116-13-1）
- 2024 年版改定案の審議：DC-21-19「配管応力解析における JIS 長手溶接鋼管の許容引張応力」について改定案が説明された。審議の結果、規格委員会書面投票に入ることが、全会一致で承認された。（資料：116-13-2）
- 溶接規格 2024 年版改定案に対する設計建設規格への影響評価（報告）：原専投票の対称となった以下の溶接規格改定項目について設計・建設規格への影響がないことを確認した旨、報告された。（資料 107-13-3）
 - ・ [DC22-19]溶接規格 2024 年版改定提案その 1 の影響評価
 - ①W21-09：「超音波探傷試験」への対比試験片の追加
 - ②W21-10：N-0070 溶接の特例規定の改定
 - ③W22-02：引用規格 JIS Z 3090 の適用年版の改定
 - ・ [DC23-27]溶接規格 2024 年版改定提案その 3 の影響評価
 - ①W15-15：「レーザビーム溶接施工法確認試験の確認項目」の見直し
 - ②W22-03：解説表 表 N-X090-1-2 「溶接後熱処理における溶接部の厚さ及び母材の厚さ（例）」への事例追加

（4-2-2） 発電用原子力設備規格 溶接規格：【資料 107-14】

（説明者：溶接分科会 藤田幹事）

審議内容は以下のとおり。

- 投票結果及び意見対応の審議
 - ① W22-06「溶接部の吸収エネルギー規定材料の追加」：規格委書面投票 No. 607 の結果について、意見無しで可決したことが報告され、審議終了を確認した。（資料 107-14-1）
 - ② W23-02「承認済 2020 年版正誤表の修正提案」：メール審議 No. 80 が可決したこと、保留意見への対応について意見者が了解済みであることが報告され、審議終了を確認した。（資料 107-14-2）
 - ③ W21-09「超音波探傷試験」への対比試験片の追加：規格委書面投票 No. 606 の結果について、可決要件を満足したこと及び保留意見への対応を継続中であることが報告された。（資料 107-14-3）
- 新規改定提案の審議
 - ① W22-03「溶接後熱処理における溶接部の厚さ及び母材の厚さ（例）」への事例追加：提案内容が説明され、規格委書面投票を実施することが全会一致で承認された。（資料 107-14-4）
 - ② W22-13「引用規格の略称表記の統一」：提案内容が説明され、規格委書面投票を実施することが全会一致で承認された。（資料 107-14-5）
- 正誤表に関する原子力専門委員会での審議状況（経過報告）

以下の 2 件の正誤表発行については、既に第 106 回規格委員会において原子力専門委員会での審議終了を条件に書面投票を行うことが承認されている。現在、原子力専門委員会にて意見対応を継続中である旨、報告された。

 - ① W23-10「2020 年版正誤表 記載不整合への対応」の発行：修正案を対象に原専での再投票を予定
 - ② W23-13「2020 年版正誤表 溶接技能者改定反映もれ」の発行：原専投票にて可決済み

（4-2-3） 発電用原子力設備 維持規格に関する審議【資料 107-15】

（説明者：維持規格分科会 野村主査、評価作業会 北条主査）

- 正誤表発行の審議：
 - ① 評価章の正誤表（添付 EJJ-B-4-5，事例規格 CC-014 の修正）：資料 107-15-1
規格委員会書面投票の意見対応案の説明があり、意見の中で指摘のあった誤記については別途正誤表を提案することとしており、最終承認された。
 - ② 評価章の正誤表（添付 EJJ-B-4-5 の式の修正）：資料 107-15-2

【ここに入力】

新規の正誤表として提案説明が行われ、原子力専門委員会での書面投票可決を条件に、15 日間の規格委員会書面投票を行うことが承認された。

- 事例規格 新規提案の審議：以下の事例規格の提案について、規格委員会委書面投票を行うことが承認された。

- ・事例規格 管台丸み部の応力拡大係数算出方法：資料 107-15-3

(4-2-4) 発電用原子力設備 材料規格に関する審議：【資料 107-16】

(説明者：浅山委員 (材料分科会副主査を兼務))

- 2020 年版正誤表発行の審議：継続中の材料規格 2020 年版の技術評価において原子力規制庁より誤記の可能性について指摘を受けた 5 件中、3 件について誤記として正誤表の発行提案が説明された。挙手による採決の結果、書面投票の実施が承認された。(資料 107-16-1)。
- 2024 年版改定案 ASME 同等材 Su 値見直しに関する審議：材料規格 2012 年版技術評価では、Su 値について告示 501 号の記載が ASME 規格値を上回る場合は ASME 記載値を適用するとの要件が付けられている。本用件に該当する 6 種の材料について Su 値の改定が提案された。挙手による採決の結果、書面投票の実施が承認された。(資料 107-16-2)

(4-2-5) 発電用原子力設備規格 高速炉規格等に関する審議【資料 107-17】

(説明者：高温規格分科会 高屋主査)

- 高速炉規格 2022 年版 公衆審査版からの修正の審議：規格委員会メール審議 No. 79 での意見対応が説明され、意見回答案及び意見回答に伴う軽微な編集上の修正が承認された (資料 107-17-1)。
- 高速炉規格 2024 年版改定案 投票意見対応の審議：規格委員会投票 No. 602 での意見対応案が説明された。原子力専門委員会での審議可決を条件に規格委員会メール審議 (15 日間) を行うことが承認された。
 - ・ETD22-009：規格委員会投票 No. 602 「2024 年版改定提案その 4：「付録材料図表の材料規格適用に関する改定」の承認」意見回答 (資料 107-17-2)
- 高速炉規格 2024 年版改定案 新規提案の審議：以下の提案について、原子力専門委員会での審議可決を条件に規格委員会書面投票を行うことが承認された。
 - ・ETD23-004「高速炉規格 2024 年版準用規格年版の更新提案 (その 1)」(資料 107-17-3)

(4-2-6) 使用済燃料貯蔵施設規格に関する審議【資料 107-18】

(説明者：白井主査、清水幹事)

- 金属キャスク構造規格改定案 事例規格集の審議：規格委員会書面投票 No. 610 の結果について、可決要件を満たしたこと、保留者 2 名を含む意見対応の結果、編集上の修正を行うことで意見者の了解が得られたことが報告された。挙手による採決の結果、審議終了が承認された。
- 公衆審査計画の審議：金属キャスク構造規格 2023 年版及び事例規格集を対象に公衆審査計画が説明された。挙手による採決の結果、公衆審査の実施が承認された。なお、2007 年版発行後、2014 年及び 2016 年の 2 回、公衆審査後に改定版発行を見送った経緯について、意見受付公告の主旨説明にて言及する方針を確認した。

(4-2-7) 配管減肉管理規格：審議なし【資料 107-19 欠番】

(4-2-8) 配管耐震事例規格に関する審議：【資料 107-20】

(説明者：

- 事例規格正誤表発行に関する審議：規格委員会書面投票 No. 596 における高橋副委員長からの参考意見への対応として編集上の修正が提案された。挙手による採決の結果、提案どおり修正の上、正誤表を発行することが承認された。

(4-2-9) 環境疲労評価に関する規格の審議【資料 107-21】

(説明者：疲労評価分科会 平野副主査)

- 英訳版チェック結果の報告：英訳版のチェック結果及びこれに伴う和訳公衆審査版からの修正について提案説明が行われた。挙手による採決の結果、「公衆審査版からの変更」をホームページの「お知らせ」にて公知の上、発行原稿に反映することが承認された。

(4-2-10) 発電用原子力設備規格 コンクリート製格納容器規格：審議なし【資料 107-22 欠番】

(4-2-11) 発電用原子力設備規格 シビアアクシデント時の構造健全性評価ガイドライン：審議なし【資料 107-23 欠番】

(4-2-12) 目標信頼性評価に基づく静的機器の構造評価ガイドライン：【資料 107-24】

(説明者：目標信頼性評価検討タスク 岡島幹事)

- 公衆審査意見回答案に関する審議：公衆審査においてご意見を頂いた3名の方への回答案が説明された。挙手による採決の結果、15日間のメール審議にて意見回答案の採決を実施することが承認された。

(4-2-13) 竜巻影響評価ガイドラインに関する審議：審議なし【資料 107-25 欠番】

(4-2-14) 使用済燃料貯蔵施設規格 アルミ合金事例規格に関する審議：審議なし【資料 106-26 欠番】

(5) 発電用設備規格委員会活動状況報告

(5-1) 規格委員会幹事会報告【資料 107-4】

伊阪幹事より 5/9 に開催された第95回規格委員会幹事会の概要について説明が行われた。

(5-2) 書面投票結果【資料 106-5】

事務局より書面投票の実施状況について資料により報告された。

(5-3) 質問受付回答状況【資料 107-6-1】

事務局より、質問の受付及び回答状況について資料により報告された。

(5-4) 公衆審査報告【資料なし】

前回規格委員会以降実施された公衆審査なし。

(5-5) 火力専門委員会報告【資料 107-7】

火力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 9/1 に WEB 開催された第105回火力専門委員会の結果を中心に報告された。
- 次回 第106回火力専門委員会は 11/30 に WEB 開催の予定。

(5-6) 原子力専門委員会報告【資料 107-8】

原子力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 9/7-8 に 対面・WEB ハイブリッド形式で開催された第115回原子力専門委員会の結果を中心に報告された。
- 次期委員長選任投票を開始する。10/17 開票予定。
- 次回 第117回原子力専門委員会は 12/7 に WEB 形式で開催の予定。

(5-7) 材料専門委員会報告【資料 107-9】

材料専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 9/12 に WEB 形式で開催された第58回材料専門委員会での審議を中心に活動状況が報告された。

[ここに入力]

- 次回 第 59 回材料専門委員会は 11/24 に WEB 開催の予定。
- (5-8) 核融合専門委員会報告【資料 107-10】

核融合専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

 - 9/15 に WEB 形式で開催された第 82 回核融合専門委員会の結果を中心に報告された。
 - 次回 第 83 回核融合専門委員会は 12/15 に WEB 開催の予定。
- (6) 委員会運営に関する報告／審議
- (6-1) 原子力関連学協会規格類協議会の活動状況報告【資料 107-11-1】

伊阪幹事より規格類協議会の活動状況について報告された。内容は以下のとおり。

 - 9/11 に開催された第 72 回協議会の議事録が紹介された。
 - 機会学会より、ピアレビュー概要報告書の説明を行った。
- (6-2) 発電規格 2020 年版 規制庁技術評価対応の状況【資料 107-11-3】

設計建設規格、材料、溶接の各規格 2020 年版及び SCC 事例規格最新版を対象として継続中の規制庁技術評価の状況について、松永原専長より報告された。内容は以下のとおり。

 - 7/14 に第 3 回検討チーム会合が開催され、JSME より設計建設、材料、溶接の 3 規格について規制庁からの説明依頼条項への回答を説明した。引き続き規制庁及び外部専門家と質疑応答が行われた。
 - 同会合で規制庁より設計建設、材料規格に関する技術評価書案が提示された。
 - 検討チーム会合とは別に、規制庁事務局からの質問が多数到来しており、対応を継続中。
- (6-3) 原子力規制庁からの国際シンポジウム開催案内【資料 107-11-4】

規制庁佐々木殿より、シンポジウム開催について紹介があった。内容は以下のとおり。

 - ・会議名: 5th International Symposium on Probabilistic Methodologies for Nuclear Applications (ISPMNA)
 - ・開催日時及び場所: 2024/10/7-9 一橋大学 National Center of Sciences
- (6-4) ASME Code 委員会に関する報告【資料 107-11-5】

原子力専門委員会 松永委員長より、8/7～10 を中心に開催された ASME B&PV Code 委員会のうち、JSME 規格委員会の運営に関連が深いと考えられる次の委員会の概要が報告された。

 - Seismic Design Steering Committee (8/4)
 - ASME/JSME Joint TG Severe Accident (8/8)
 - ASME/JSME Joint WG RIM Process and System Based Code (8/3)
- (6-5) 発電規格の出版状況に関する報告【資料 107-11-6】

事務局より、規格の出版の状況について報告があった。内容は以下のとおり。

 - 2022 年版 7 規格について価格及び発行部数が出版センター及び理事会に承認され、順次発行作業に入った。
 - BWR 配管減肉管理規格の事例規格「放射線透過画像による厚さ測定を用いた減肉管理に関する規定」について、電子配信による閲覧サービス及びダウンロード販売を開始した。
- (7) 今後の予定
- 次回の発電用設備規格委員会の開催予定は以下のとおり。
 - 第 108 回 発電用設備規格委員会: 2023 年 12 月 21 日(水) 10:00～17:00(WEB 開催)

以 上

[ここに入力]